

6 活字 本文 15 級(10.5P) 明朝体 43 文字× 35 行

7 製本 無線とし、あじろとし糸かがり

8 割付・組見本

- (1) 全体の割付は組見本ならびに係員の支持に従い、印刷所が責任をもって行うものとする。
- (2) 活字母型は同一のものとし、不揃いがないようにすること。

9 組版・図版下

- (1) 組版は本組とする。
- (2) 挿図は鮮明に(線が消えないように)すること。
- (3) 写真図版は、175線とする。
- (4) 遺物写真版は、全て切抜き+付けバック(C4%・M4%・Y4%・黒4%)で、幅1mmの白抜き罫を入れること。
- (5) その他については、係員の指示に従うこと。

10 入稿・原稿等

- (1) 全て原稿はデジタルデータ渡しとする(Adobe Indesign2025)。
- (2) 本文原稿に配置しているデータは、TIFFまたはJPGである。
- (3) 写真図版原稿に配置しているデータ387点は全てTIFFである。
- (4) インデザインの割り付けのとおり配置し、その他は係員の指示に従うこと。

11 校正

- (1) 社内校をした上で校正を受けること。
- (2) ゲラは挿図・付表を所定の位置に貼付した完全なものとする。
- (3) 校正は三校まで行う。(ただし、必要と認める場合はこの限りではない。)
- (4) ゲラ部数は、初校～三校とも3部とする。
- (5) 写真校正を行う。二校目に写真校正できるもの(密着印画またはゲラ刷り、コピーは不可)を見せること。
- (6) カラー写真図版は、本紙校正を2回行う。(ただし、結果によってはこの限りではない。)

12 納入品 印刷・製本部数 300 部・ PDF 2 枚

	再版可能なPDF(1枚)	web公開用PDF(OCR)(1枚)
本文	600 dpi	150 dpi
モノクロ写真	350 dpi	150 dpi
カラー写真	400 dpi	150 dpi

13 納期 令和 8 年 3 月 19 日

14 その他

- (1) 後日正誤表を作成することがある。
- (2) 製本見本(本刷り見本)を2部作成し、検査を受けること。
※ 図面の天地の逆転や、ページの抜けなどの確認で校正ではない。
- (3) 検査に合格したものを納品し、不良品はすみやかに取り替えて納品すること。
- (4) その他、係員の指示によること。
- (5) 納品時の梱包は、1包で最大7kgとする。

15 参考事項

抜刷(経費は見積外) 有・無 箇所 部
増刷(経費は見積外) 有・無 160部